

21 世紀のサイバー大学院

五十嵐 雅郎

日本大学大学院総合社会情報研究科

”Cyber Graduate School of the 21st Century”

IGARASHI Masao

Nihon University, Graduate School of Social and Cultural Studies

This paper is a resume of the keynote speech, “Latest Examples of Education by Correspondence: How the problem of students not being able to commute has been solved,” at the “University Management Strategy Seminar: The future of Graduate Schools for Working People” held under the aegis of National Institute of Multimedia Education on November 11, 2004 in Tokyo and on November 25, 2004 in Osaka.

The Graduate School of Social and Cultural Studies of Nihon University, which is called “a cyber graduate school of the 21st century,” is a leader of graduate schools by correspondence in Japan. This paper examines factors in the success of the school, not only as a graduate school by correspondence but also as a successfully managed graduate school for working people. In order to help better understanding of the writer’s position, some editorial work has been done on the paper presented at the seminar, which includes further elaborations of the text and the addition of charts and tables.

要約：

通信教育最新事例

「通いたいのに通えない！をどう解決したか」

21世紀のサイバー大学院—日本大学大学院総合社会情報研究科—の当大学院は、通信制大学院では初めての「マルチメディアを駆使する最先端の双方向コミュニケーション大学院」として知られており、すでに通信制大学院のリーダーとなっておりますが、設立以来の経緯は、次の通りです。

- ＊ 1999年4月独立大学院でスタート（学科長は瀬在日大総長兼任）
- ＊ 2003年4月博士課程認可
- ＊ 2004年4月研究生制度を採用

スタートした後、4年間で博士課程が認可されたということは、当大学院のカリキュラムが優れており、

優秀な社会人院生を多数生み出してきた結果と考えられます。ちなみに修了率は、三専攻合計で65—70%と、他の大学院と比べ極めて高い水準で推移しております。通信制大学院・基準協会の評価委員に対する当大学院のプレゼンテーションの結果でも、当大学院は最高位にランクされています。

1. 日本大学大学院総合社会情報研究科とは・・・

1) インターネット利用通信制大学院のバイオニア (表1)

- ・1999年4月 独立大学院でスタート(学科長は瀬在日大総長兼任)
国際情報・人間科学・文化情報等の3専攻(定員各30名)
- ・2003年4月 博士課程認可(総合社会情報研究科1本で定員9名)
- ・2004年4月 研究生制度を採用

2) 多様なニーズに対応する徹底した個人指導 (表2,6)

- ・課目数101、専任教員20名、兼任教員41名

3) 時間・距離を越えた双方向コミュニケーション授業 (表4,5,10,11,12)

- ・主力はメールとインターネット利用のサイバー講義
(衛星中継システム利用の公開授業など)
- ・スクーリング、面接ゼミ、地方ゼミの充実
- ・海外からの遠隔授業も(教員・院生双方とも可能に)

4) 成果は高い。修了率と博士課程進学率に (表1,3)

4)成果は高い修了率と博士課程進学率に (表1,3)

表3 修了者と修了率

総合社会情報研究科 修了者

専攻名	H12年度 修了者数 (修了率)	H13年度 修了者数 (修了率)	H14年度 修了者数 (修了率)	H15年度 修了者数 (修了率)
国際情報	33(75.0%)	28(73.7%)	41(75.9%)	31(63.3%)
文化情報	12(60.0%)	16(80.0%)	18(72.0%)	18(81.8%)
人間科学	44(78.6%)	52(81.3%)	50(71.4%)	35(66.0%)
合計	89(74.2%)	96(78.7%)	109(73.2%)	84(67.7%)

出所: 日本大学大学院 総合社会情報研究科 2005年度大学案内

2. 成功の鍵は明確な設立目的と
それに対応する教育体制

1)教育目的は『社会人に対する高度専門知識の提供と再教育』(表2,6)

2)教育方法は『パソコンを開放し、そこがキャンパス』。院生のニーズに
マッチした『知的サービスの提供』で、それを可能にする研究体制の採用
(表7,8,9,10)

情報メディアの活用(衛星講座も活用)
教員による直接の課目指導とアドバイス
アシスタントによるパソコン研修、サイバゼミ研修、資料収集指導

3)教職員、在校生、修了生相互のネットワーク強化 (表15,16,17,18)

教職員、院生が積極的に参加する広報活動
修了生、サイバゼミ、研究会、学会を通しての院生、修了生の
異業種間知的交流
公開講座、地方公開シンポジウムへの修了生の積極的参加

3. 競争優位の源泉は・・・

1)受験者のニーズに対応出来る専任教員の確保 (表13)

・指導教員を指名して受験するシステム
・課目選択も指導教員のアドバイスで

2)教員の研究内容、指導方針についてディスクロージャーの徹底 (表6,14)

・大学院のホームページ、教員のホームページの充実

3)院生、修了生への研究成果発表の場を用意 (表16,19)
(学会誌、紀要、電子マガジン、電子ブック)

4)教員の自発的な研究・教育法開発の支援

5)『通信教育』で『通心教育』を

当大学院についての紹介を、通信制大学院のみならず大学院経営における成功事例として、ここでお話出来ますことを、大変嬉しく思っております。成功の理由は、以下の三つであると考えられます。

- ① 大学院の設立目的が明確であるということ・・・
- 当大学院は「高度専門知識の提供と再教育」を目的とし、特に国際情報専攻は当初からプロビジネスマンの養成を目的として創られました。
- 社会人を対象とする単なる市民講座、文化講座あるいはその延長としての所謂「生涯教育」のために創られたものではありません。18歳人口が減っているから「社会人教育でもやるか」といった「でも・しか大学院」ではありません。
- 「これまでビジネス教育に対する会社側の無理解の中で、自己啓発のため夜間ビジネススクールに通い、通勤と通学の双方に疲れ切って勉学を断念しかかっているビジネスマンに、調査研究の機会を用意しなければならい」と考えて設立されたものであります。

2. 成功の鍵は明確な設立目的とそれに対応する教育体制

1)教育目的は『社会人に対する高度専門知識の提供と再教育』(表2,6)

総合社会情報研究科設立の経緯と目的

本学を目指すみなさんへ

総合社会情報研究科長 堀江 幸吉

本学が設立された経緯は、社会人に対する高度専門知識の提供と再教育を目的として、社会人のニーズにマッチした『知的サービスの提供』で、それを可能にする研究体制の採用、情報メディアの活用(衛星講座も活用)、教員による直接の課目指導とアドバイス、アシスタントによるパソコン研修、サイバゼミ研修、資料収集指導、院生、修了生への研究成果発表の場を用意、教員の自発的な研究・教育法開発の支援、通信教育で通心教育を

出所: 日本大学大学院 総合社会情報研究科 2004年度大学案内 P.4

2. 成功の鍵は明確な設立目的と
それに対応する教育体制

1)教育目的は『社会人に対する高度専門知識の提供と再教育』(表2,6)

表3の
総合社会情報研究科公式ホームページ

総合社会情報研究科公式ホームページ

出所: 日本大学大学院 総合社会情報研究科 2004年度大学案内 P.4

- ② この目的達成のために最も適した体制（教育インフラ）が採用されていること・・・

当大学院は通信制大学院として始めてe-ラーニング、eメール、人工衛星利用の双方向コミュニケーションシステムを採用し、それに必要な経営資源（ヒト、モノ、カネ）とシステム（情報）を用意しました。我が国初めて「時間と距離を越え、パソコンを開けばそこがキャンパス」を、スタートさせるには、まず多種多様な入院志願者のニーズを十分受け止めることができる「深くかつ幅広い知識を持つ」実力派教員の確保が必要であるとして、その確保に努力しました。

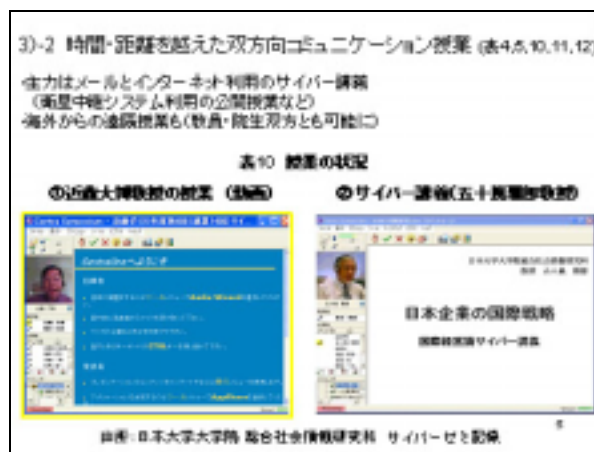
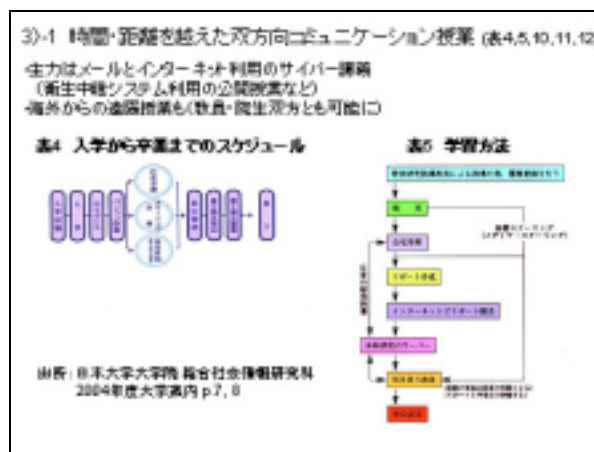
ついで情報技術の進歩に対応し、双方向コミュニケーションの設備の絶えざる更新、教材開発、ネットワーク維持・リスク管理分野のプロ集団である職員、教育補助員、ヘルプデスクの人材確保も必要でした。幸運にも、当大学院は日大本部の中の独立大学院（独立しており、下に学部を持たない）であり、当大学院設立のプロモーターである瀬在総長が学科長を兼務して体制整備に努めたことが、体制整備に成功した大原因であります。

- ③ 大学院生、教員、職員の3者が、目的達成のために十分なコミュニケーションを維持していること・・・

こうした組織目的を達成するために、組織構成メンバーが協力し合うことが不可欠であるわけですが、それにはメンバー間のコミュニケーションが充分でなくてはなりません。

このコミュニケーションが崩れれば、組織は一瞬にして崩壊します。社会人は、自己実現を目標に忙しい時間をやりくりして勉学に励むのでありますから、教職員全員が「自分たちは顧客のために働く知的サービス産業に従事している事実」を、十分理解し院生のためにいかにすべきかを考えていなくてはなりません。これまでいろいろ付き合ってみて、地方大学の教授の中には教授であること自体を自慢してサービス精神に欠けた人達を多く見かけたものですが、

それを社会人院生サイドから見ても、「教えてくれる授業内容が問題なのであって、教える人の資格例えば教授かどうかなどはまったく問題にならない」のであります。自分に有用な講義をしてくれる教員なら、教授でも非常勤講師でも同じなのです。



3)-3 時間・距離を越えた双方向コミュニケーション授業 (表4.5,10,11,12)

主力はメールとインターネット利用のサイバー講義
(衛星中継システム利用の公開授業など)
-海外からの遠隔授業も(教員・院生双方とも可能に)

表10 サイバーゼミスケジュール

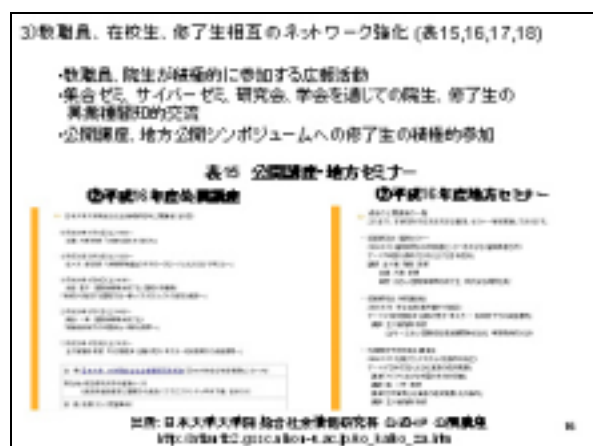
日	時間	科目	講師	内容	備考
4月12日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月19日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月26日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月31日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月5日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月12日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月19日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月26日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月2日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月9日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月16日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月23日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月4日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月11日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月18日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月25日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月1日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月8日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月15日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月22日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月29日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月31日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月4日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月11日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月18日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月25日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月2日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月9日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月16日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月23日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月4日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月11日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月18日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月25日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月2日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月9日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月16日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月23日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月4日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月11日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月18日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月25日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月2日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月9日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月16日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月23日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月4日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月11日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月18日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月25日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月2日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月9日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月16日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月23日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月4日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月11日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月18日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月25日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月2日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月9日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月16日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月23日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
8月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
9月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
10月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月4日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月11日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月18日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
11月25日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月2日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月9日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月16日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月23日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
12月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
1月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
2月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月6日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月13日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月20日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
3月27日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月3日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月10日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月17日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月24日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
4月30日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月7日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月14日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月21日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
5月28日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月4日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月11日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月18日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
6月25日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月2日	18時	サイバーゼミ	五十嵐雅郎	入学ガイダンス	
7月9日	18時	サイバーゼミ	五十		

当大学院は、講義の内容を落とさず、理解しやすいサイバー講義や e - メール、集合ゼミ、スクーリングといった授業を組み合わせ、タイムリーな情報サービスを行っております。そのほか、院生同士が意見交換を行うためのディスカッションルームの提供、院生・修了生による電子マガジンの発行など、教職員や院生同士および三者相互間のコミュニケーションの強化こそが大切であることを充分認識しております。



具体的に、教育体制を説明いたしますと、「パソコンを開けば、そこがキャンパス」というシステムを用意し、「院生の将来に役立つ知的サービスを提供する」ために、①教員が直接院生のニーズにあった論文指導やアドバイスを行うこと、②院生に情報メディアの活用方法を十分指導すること(パソコン研修、サイバー研修、検索エンジンの使い方など)、③教育

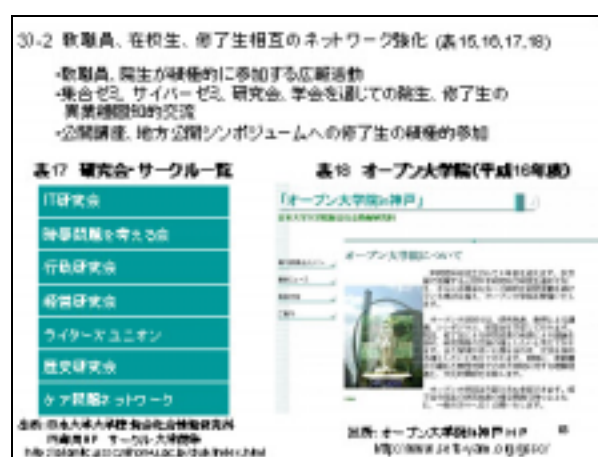
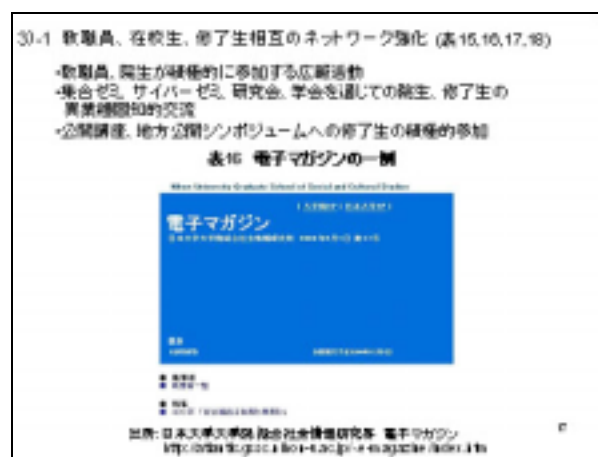
補助員による効果的な教材の作成を行うこと、などが挙げられます。



次いで、教員、職員、在校生(含む修了生)相互のコミュニケーション・ネットワーク作りであります。なにしろ新しいタイプの大学院ですから、「この大学院が如何に社会人教育の役に立つのか」の長所を理解してもらい、そして当大学院を利用いただくための広報活動に力を入れました。このため教職員、院生、修了生の全員が一体となって公開講座、地方公開シンポジウム、大学院祭、研究会(異業種間知的研究交流会)をスタートさせ、効果をあげております。

こうしたイベントは、すべて国際情報専攻主任近藤教授のイニシアチブによってスタートしましたが、同教授のリーダーシップにより教職員のみならず在校生、修了生全員を巻き込んでの運動に盛り上って

大成果をあげた背景には、参加者全員の「危機感」があったことが大きいと、考えております。これは修了生Mさんの発言ですが、「この大学院が成功しなければ、我々は今までここで学んだことも全部忘れてしまう」というのがありました。危機感が如何に大きく働いたか、理解していただけると存じます。「先駆者は、すべてイバラの道を歩む」との諺がありますが、情報化時代の要請もあって、当大学院は今までうまく行きました。しかし、これからは社会人教育に本格的に参入する大学院が増えて競争激化が予想され、当大学院は一層の「知的サービスの質の向上」に努力し、成果を挙げてゆかねばなりません。



これからの当大学院の競争は、他の通信制大学院ではありません。郵便を主力とする通信制や、ビデオテープを送る通信制は、すでに時代遅れになって

おります。競争相手は全日制・定時制のビジネススクールであります。少なくとも国際情報専攻においては、そうであります。これからの競争に対処するため、当大学院はいろいろな経営戦略を採用してまいりました。こうした競争優位に立つために役立った経営戦略は、次の三つと考えております。

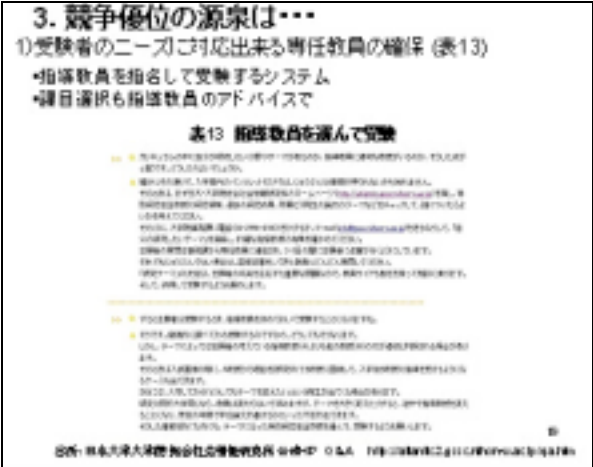
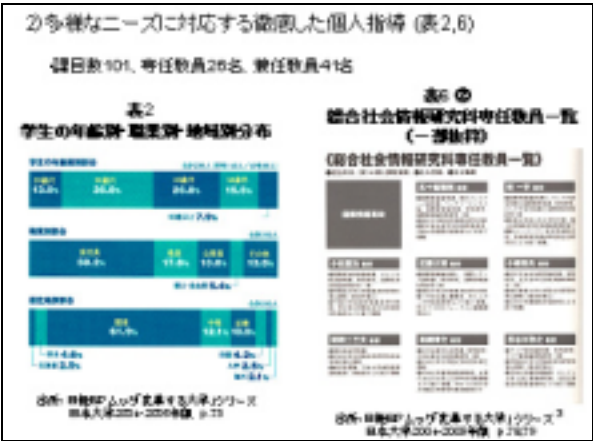
- ① 多岐にわたる院生のニーズに対応できる優秀な専任教員の確保
- ② 指導教員を指名して受験するシステム
- ③ 指導教員の自由意志による教育方法採用と成果責任の明確化

第一に、当大学院は科目数101、専任教員26、兼任教員41であり、専任教員の多いのが目につきます。国際情報専攻の受験生は、企業、国家・地方公共団体に働きながら学位を取ろうとしている学生であります。私のゼミ生を年齢的にみると、30代後半と50代の二グループに大別されます。前者は管理職や役員に昇格するために必要な知識を身につけようとする人達、後者は第二の人生設計にプラスする資格を身につけようとする人達であります。彼らの専門分野における経験的知識は、教員を上回るものがあります。その彼ら彼女らを指導するのですから、教員は日夜モーレツな勉強を強いられます。

ゼミ生の数だけプロジェクトがあり、指導教員はそのプロジェクトリーダーとしての資質を問われ続けることになります。当大学院は学部を持たない独立大学院でありますから、教員は学部に逃げ込むことは許されません。学部に付置された大学院ならば、大学教育に力を入れたためとして、大学院で手抜きをすることが可能かもしれません。しかし、当大学院では手抜きは許されません。下手をすれば「授業料を返せ」と訴えられるリスクは大きいのです。当大学院は、設立当時から社会人教育に適した優秀な専任教員を確保しておりましたため、成果を挙げる事が出来ました。18歳人口が減ってきたので、多角化のため社会人教育でもやろうかといった思いつきの「でもしか大学院」でないことを覚悟した教員だけでしたのが、競争優位に立てた理由と考えています。

合、私は他の大学院の教員を推奨しております。

当大学院の専任教員のホームページには、その教員が担当したゼミ生の「研究テーマ一覧」が記載されておりますが、これが学生をして指導教員の選択に大いに役立っていることは確かであります。すでに設立後、6年を経過しますと当大学院のディスクロージャーの良いこと、それに修了生・在学生からの口コミの効果も現われて、次第に受験生の質も上昇しております。



第二の長所は、当大学院は、受験生があらかじめ指導教員を決めてから受験するシステムを採用していることです。受験生は自分の将来を修士論文にかけておりますので、誰を指導教員に頼むか、その選択に懸命です。

当大学院では専任教員の研究内容や過去の研究実績、さらには指導方針をホームページに記載するとともに、受験生には入学前から当大学院教員とコンタクトし、自分のニーズを提示してニーズに合致した教員の有無をチェックするようアドバイスしております。当大学院ホームページの「Q&A」を見ていただきたく存じます。入学を希望する社会人は、1年以上も前から指導教員を探してメールを入れて参ります。大半のゼミ生は入学前から私とコンタクトし、私が担当できる能力があるかどうかを調べて入ってきました。当大学院に的確な教員が居ない場



第三の長所は、選択科目講義、論文指導の双方において、研究方法、指導方法とも教員の自主性に任せられ、これを他の教職員らのスタッフが支援する体制が出来上がっていることだと思います。教授会(分科会)の下に、運営委員会と専任教授会があります

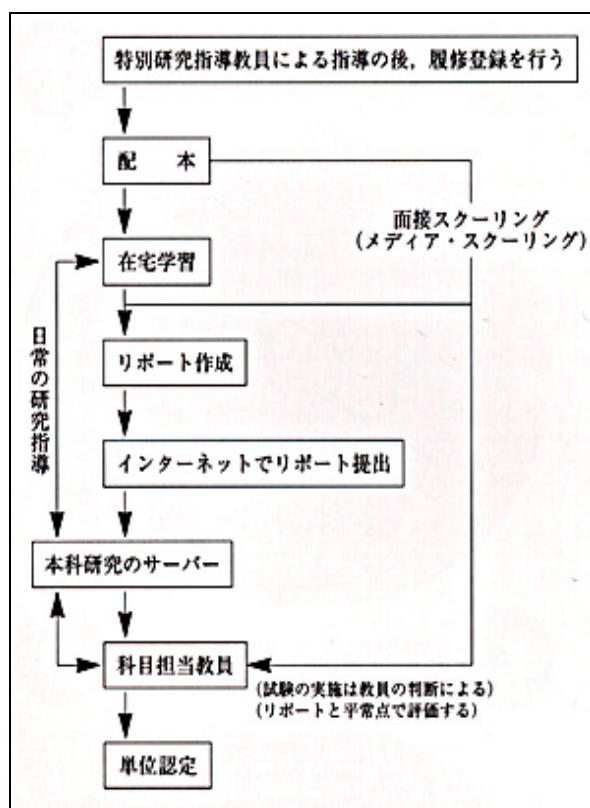
が、専任教授会は自由な雰囲気のもと本音で議論できる組織になっております。専任教授会の議長は、各教授の回り持ちで、そこで役に立つ提案が採用されます。論文の研究発表会、中間報告会、さらにはカリキュラムについての提案には学務委員佐々木教授のイニシャチブに大きく依存しております。またこの専任委員会に事務責任者も参加し、自由に意見を述べております。自己の研究の仕方、院生への指導方法は、現場を知る各教授の自由に任されています。「院生に対する知的サービスの充実」に役立つものである限り、教員の提案はすべて是認されます。院生からの苦情が出た場合、これは3学系主任教授や学生委員竹野教授を中心に専任教授会で紹介されて対策が議論され、すぐ具体的な方針が立てられ教授会の承認を得て実施されます。

教職員および院生（含む修了生）との連絡の大半はメールであります。私のところには毎日30本くらいのメールが参りまして、大体その半分は返事をしなければなりません。ついに指が痛くなってパソコンが打てなくなり、音声入力システムに切り替えることにし識字率が高いドラゴンスピーチを購入しました（製造はスキャンソフト社、日本の販売代理店はアスキーソリューション社です）。これに対し事務課はすぐOKを出してくれましたので、本当に助かっております。私は、さらにボイスメールで講義をし、これに対して受講生がメールで質問してくる講義を今考えておりますが、これも事務課はOKしてソフトを購入してくれました。また当大学院事務課は教育補助員の採用においても多大の便宜を図ってくれまして、一般的に事務課は官僚的だといわれていますが、例外的に当大学院では事務課からの支援体制が確立していることを強調しておきたいと存じます。

他方、自由であるだけに論文指導を行う教員の負担は大きいといわなければなりません。院生の選択科目の決定は、指導教員のアドバイスに依存しております。選択1科目につき4本のレポート提出が求められておりますが、そのレポートの指導もすべて指導教員に任されています。通常の通信制大学院の

レポート添削は1回に限られ、その添削も模範解答を見ながらアシスタントが行うというのが普通です。しかし、当大学院では院生が納得いくまで何回も指導教員本人が責任を持って指導します。

また、当大学院は「時と場所を越えての授業」を行っている関係以上、院生が海外駐在員となっても、講義を受けることもレポート作成のアドバイスをすることも充分可能です。それと同時に、教員が海外出張したり、一定期間他大学の客員教授となって海外駐在する場合でも「双方向コミュニケーション授業」が可能です。実際、近藤主任教授が昨年ミシガン大学客員教授として6カ月間日本を離れることがありましたが、授業なり論文指導にまったく支障はありませんでした。しかし、指導方法が自由であると言っても、このシステムは、同時に指導教員の成果責任を問われる極めて厳しい制度であります。私は、こうしたチャレンジングなシステムの中で教員を続けられる楽しみを味わっているのですが、このタイプの大学院が嫌いな教員に対しては、大変ストレスが掛かる職場かもしれません。



以上、社会人とくにビジネスマンを対象とする当大学院の実情を、説明いたしました。

いま、小売業界においては、店舗販売が不振を極め、カタログ利用の通信販売が増えております。情報量が増え印刷媒体では記載しきれず、インターネット通信販売も増えてきました。しかし通信販売においても、紙をパソコンに置き換えただけでは、まったく効果はありません。消費者は、できるだけ多くの情報の中から自分のニーズに適した商品を選択したいのです。単に有名であるとか、良質であるとか、価格が安いとかで、商品やサービスを選択するものではありません。自分の本当に欲しいものについての情報をできるだけ早く入手し、自己のパーソナルな欲求を満足させる商品やサービスを購入したいのです。こうしたパーソナルな欲求にこたえるには、楽天株式会社のようにブロードバンド利用のインタラクティブ（双方向）な情報提供システム（B2C、C2C情報サービス）が必要となります。

こうした個人へのパーソナルなサービスを用意し、個々人に欲求を充足させる販売方法をエモーショナル・マーケティングと言い、これが今後、究極のマーケティングとされています。

この通信販売の「販売」の言葉を、「教育」と置き換えて考えて下さい。今日の社会人教育において、年齢・職業・居住地などがそれぞれ異なる社会人学生の多様なニーズに答えねばならぬ状況が、今後も続くと考えられます。こうした状況で、画一的な授業や論文指導を行うことは、極めて難しい状況にあります。そこで院生のニーズを充分汲み取り、それぞれの論文作成をいかに効率的に行わせるかを、考えてやる必要があります。インターネット利用のサイバー授業、メールでの質疑応答に加え、集合ゼミ、教員が出張した際の地方ゼミ（出前ゼミ）、それに年2回のスクーリングを用意して、個々の院生に十分な知的サービスを与えなくてはなりません。距離や時差を克服した授業を行い、社会人学生に満足感を与え、当大学院のファンを増やしてゆくのが、必要だと思っています。

我々のこうした努力が実を結び、通信教育が教職員と学生の相互の心が通い合う「通心教育」を実現したいものだと思います。

（最後に、以上の講演はあくまで五十嵐個人の意見であることを付け加えておきます）

※参考

開設年度経費概算 (単位:千円)	
ホームページ作成	1,800
PC関連費用	57,000
ヘルプデスク業務	28,000
人件費	150,000

①人件費は、修士論文指導の専任教員12名分、事務職員および教員補助スタッフ7名分を含む。
なお、オフィス、研究室の経費などは含まず。

※図表は、当日配布資料より抜粋

(Received:May 31,2005)

(Issued in internet Edition:July 1,2005)